



報で「町民の強い要望で 動きを知りながら選挙公

例を使い東京都議会より

ただ、合併時に在任特

民の批判を受けたところ 巨大な議会をつくり、住 町長はこうした議会の

らの敬意を表します。

の真摯な取り組みに心か の議会の定数削減問題へ 答



聴会や参考人制度を活用 員定数や報酬について公 に議会側が自主的に見直 会情勢や住民意向を参考 まで数度、そのときの社 定数削減について、これ また、昨年も適正な議 、検討することとして 削減をしてきた。





杉本五郎 議員



は。

高齢者の健康維持器

間伐材を活用して安全

遊具の下に町有林の

マットを作って使用して

集中設置してはどうか。

大きな公園に遊具を

議員定数は 議会が決めるもの

町長公約は疑問



議会風景

ないか。

い分けを考えるべきでは 図るためにも、公園の使 るのか。

遊具の設置基準はあ

事故を避け安全性を

えるが。

発育につながると考える

問

健全な運動が知育

望なら何よりも議会に伝 関係を壊すものだ。 と議会のせっかくの信頼 すようなやり方は、 このような議会を敵に回 えるべきではないのか。 町長 減したが無競争となり、 年12月議会で定数を2人 「4人減していれば」と

柴田町議会では議員

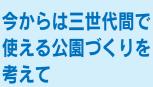
いたが、本当に町

民の要

もあり、本町でも平成16

滝口町長 これまで とへの失望感もだされて 数問題を後回しにしたこ 会活性化を優先させ、 あるいは、議会が議

のと思います。 数は、住民の意向を受け 組んで欲しいとの思いか 代弁し、定数問題に取 らの公約であり、議員定 て、議会が決めるべきも こうした住民の思いを







これからはユニバーサルの 公園づくりで対応

願いし、看板でも注意啓 答 発に努力します。 協議して遊びの指導をお していきます。 基準はありません。 区長と関係者で協議 公園愛護協力委員と 遊具の必要性につい 滝口町長 (1)

> 対応していきます。 協力を得ながら砂敷きで ので、公園愛護協力会の (4)クショップなどで公園づ サルデザインを目標に、 (5) これからはユニバー くりをすべきと考えます。 各世代のみなさんがワー 安全マットは高価



船岡中央公園(船岡東2丁目)